第 1 回中央区自転車活用推進計画策定委員会

日時：令和 5 年 5 月 29 日（月）14:00～

場所：月島区民センター 1 階会議室

I. 議事

1. 開会
2. 委員会の設置
3. 議事
 - (1) 計画策定の背景
 - (2) 自転車に関する区の現状と課題
 - (3) 計画の方向性（案）
 - (4) 計画策定スケジュール
4. その他
5. 閉会

II. 出席者

次頁の出席者名簿 参照

III. 配布資料

第 1 回中央区自転車活用推進計画策定委員会 次第
構成員名簿

資料 1 : 中央区自転車活用推進計画策定委員会設置要綱

資料 2 : 計画策定の背景

資料 3 : 自転車に関する区の現状と課題

資料 4 : 計画の方向性（案）

資料 5 : 計画策定スケジュール（案）

参考資料：自転車に関する区の現状【参考】

＜出席者名簿＞

役職名	氏名	出欠	備考
宇都宮大学地域デザイン科学部社会基盤デザイン学科教授	大森 宣暁	○	
国土交通省東京国道事務所交通対策課長	関 肖	○	
東京都建設局第一建設事務所管理課長	小林 実	○	
警視庁中央警察署交通課長	田中 智也	○	代理出席：交通課課長代理 福田 みちる
警視庁久松警察署交通課長	石川 大造	○	
警視庁築地警察署交通課長	上野 晃宏	○	
警視庁月島警察署交通課長	三橋 仁美	○	
京橋地域町会連合会会長	塚本 和隆	×	欠席
日本橋地域町会連合会会長	高橋 伸治	○	
月島地域町会連合会会長	滝浪 誠	○	
一般社団法人日本シェアサイクル協会理事	小澤 克年	○	
東京都自転車商協同組合中央支部	鈴木 康亘	○	代理出席：副支部長 正木 嘉美
一般社団法人自転車駐車場工業会管理運営委員会	森井 清	○	代理出席：管理部会委員 中村 順一
東京都交通局総務部企画調整課長	上村 雄二	○	代理出席：課長代理 徳田 智美 (WEB)
日立自動車交通株式会社営業企画部	榎本 則彦	○	
防災危機管理室長	春貴 一人	○	
区民部長	濱田 徹	○	
都市整備部長	早川 秀樹	○	
教育委員会事務局次長	生島 憲	○	
環境土木部長	三留 一浩	○	
環境土木部交通課長	落合 秀行	○	
環境土木部水とみどりの課長	白石 学	○	
環境土木部道路課長	金広 直樹	○	
環境土木部副参事（交通安全対策・特命担当）	西留 徹	○	

IV 議事

1. 開会

2. 委員会の設置

【事務局】

資料1説明

3. 議事

(1) 計画策定の背景

【事務局】

資料2説明

(2) 自転車に関する区の現状と課題

(3) 計画の方向性（案）

【事務局】

資料3、4説明

意見・質問①

【高橋委員】

自転車と公共交通の相互利用が必要とありますが、前提として個人保有の自転車かシェアサイクルかが重要です。個人保有の自転車と公共交通の相互利用となると、駅周辺への大型駐輪場整備が必要になりますが、中央区の実情を考えると困難です。以前にも地下式駐輪場整備の話がありましたが、進んでいない状況です。そういった状況を踏まえて、公共交通との相互利用による充実が必要との結論になったのでしょうか。

【事務局】

公共交通との相互利用にあたっては、自転車通行のネットワーク化が重要であり、道路幅員の狭い本区で、どのような方向性で進めるのか考えていく必要があります。個人の自転車、シェアサイクルどちらも利用されているため、どちらかだけを取っていくのは難しいところです。国道・都道の道路管理者の協力もお願いしながら、再開発での駐輪場整備を推進するとともに、道路上で駐輪できる環境を作っていくと思います。

駅前の駐輪対策は大規模開発の中で駐輪施設を設けていく等、まだ完全ではないにせよ、駐輪需要を満たすところも多く出てきています。一方で、駅から離れた地域での放置自転車が問題となっている現状があります。本計画においては、こうした現状を踏まえた、駐輪対策と自転車活用の両方の施策を推し進めていくものと考えています。

【高橋委員】

300m以上の距離は自転車で移動することが多く、他の地域よりも、ちょっと離れた所は自転車で移動するという思いが強いと思います。住民の方にも多少我慢していただく等も示していかないと両立は難しいのではないのでしょうか。

【大森委員長】

自転車の駐輪と活用の両立に関しては、自転車のシェアリングが有効策となります。

意見・質問②

【小林委員】

自転車専用通行帯について、現状の1kmから、どの程度まで整備するか具体的な目標値はありますか。また、整備の優先順位についてはどのように考えていますか。

【事務局】

目標値については、今後、道路管理者や警視庁と協議しながら具体的に示していく予定です。また、整備の優先順位についても、各道路管理者における優先整備の可否の状況や自転車交通量等を考慮して進めていく方針です。

意見・質問③

【鈴木委員（代理正木氏）】

自転車通行空間について、車道に示されている自転車のマークが小さく、特に夜間は、もっと明るく、わかりやすくしないと危険です。歩道は子どもや高齢者が多く、接触事故が起る可能性も高いことから、自転車は歩道を通らない方が良く考えます。

【事務局】

自転車が車道を通行する際には、路上駐車などによる危険を感じる場面もあり、通行空間としては、自転車専用通行帯として、青い線でわかりやすく示す方法もあります。しかし、そうした構造は道路幅員が広くないと困難であるため、道路の現状や構造を踏まえ、交通管理者等とも協議し、安全に利用できる空間を作っていきたいと考えます。歩道通行禁止に関しては、自転車の車道通行ができない場合もあるため、一律には難しいところであり、そうした箇所では、安全啓発を図ってまいります。

【鈴木委員（代理正木氏）】

夜間のナビマークは見え難いです。他自治体では幅や色も違う場所があります。

【事務局】

他自治体も参考にしてみます。夜間のナビマークやナビラインについては、夜行ビーズや反射材など入れることで起きる別の問題等もあるかもしれないので、今後研究をしていければと思います。参考として情報がありましたら、教えてください。

【大森委員長】

私も全国で何種類か違ったものを見かけたことがあります。オリジナルなものを作っても問題はないのかもしれませんが、市区町村によってあまりにも違ったものでは利用者が混乱してしまうかもしれません。

意見・質問④

【小澤委員】

路上駐車問題は、昨今の中央区の人口増加により悪化している状況なのか、恒常的にこのような状態が続いているのか、どちらでしょうか。

【事務局】

今に始まった話でなく、商業地域で荷捌き車両による駐車が多いというのが以前からの状況です。人口増加が原因として悪化したという状況ではないと思われまます。

【小澤委員】

自転車においても路上駐輪の問題が生じているのでしょうか。

【事務局】

駅周辺の駐輪場は、一部不足もありますが整備が進んできている状況で、放置自転車も減ってきています。しかし、駅から離れた場所での駐輪や買い物・習い事等の送迎で利用出来る駐輪場はまだ少なく、人口増加の影響もあるかと考えます。

意見・質問⑤

【小澤委員】

駐輪と自転車活用の両立のためには、自転車の総量規制が必要と考えます。個人保有の自転車とシェアサイクルを併用していただきたいと思います。公共駐輪場のスペースや、自動車駐車場の余剰空間をシェアサイクルポートとして活用できないものかと思います。中央区はシェアサイクルのニーズが非常に高いため、受け皿の確保も区と協力し進めていきたいと思っています。

意見・質問⑥

【森井委員（代理中村氏）】

駐輪場の運営側の感覚としては、駅前の駐輪場は足りている状況で、入庫率が落ちている箇所もあります。一部の駐輪場では、シェアサイクルの導入も進めていますが、今後、フレキシブルに進められたら良いと思います。

また、道路に4～5台の小規模駐輪場を作れるような方式が望ましいですが、そのような計画はありますか。

【事務局】

駐輪場の利活用について、まずは駐輪場を使ってもらうことを第一に取り組んでいきます。シェアサイクルの利用促進にはポート設置が不可欠であり、ニーズを踏まえ進める必要があります。少数台数の駐輪場整備は道路上を上手く活用しながら進めていく必要がありますが、歩行空間の確保も重要であるため、道路管理者と協議を進めながら検討していきます。

【大森委員長】

自転車、自動車ともに、人の1日の移動時間は平均1時間くらいです。そうすると、個人所有の車両は23時間は駐輪場または駐車場にいるわけですが、これをシェアすることができるシェアサイクルは空間の有効活用です。

意見・質問⑦

【高橋委員】

少し出かけた際に駐輪できないという問題があります。その点についても施策の中に含めていかないと、本当の意味の解決はできないと思います。

【事務局】

現状としては、小規模の建築の際でも店舗が入る場合は駐輪場を設置してもらえるように取り組んでいます。今後、計画でその点も踏まえ検討していきたいと思います。

(4) 計画策定スケジュール

【事務局】

資料5 説明

4. その他

【事務局】

事務連絡

5. 閉会

以 上